

## グループホーム風のふく丘

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は代表者と職員が意見を出し合って作りあげており、「地域の人といつも笑顔であいさつ」とし、地域と関わりながら、利用者一人ひとりが家庭的な雰囲気でもいつも笑顔でのんびりと安心して暮らせるように独自の理念を掲げている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝礼時に理念を唱和して共有を図り、実践に取り組んでいる。また、カンファレンスや勉強会の際も意見交換を行い、共有し、実践に取り組んでいる。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族や親族等の面会時、見学者やボランティアの受け入れ時、運営推進会議、散歩時の近所の方との立ち話等、その時そのときに理解を深めて頂けるように日々取り組んでいる。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		2	4 外部 評価 3	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物、病院受診等で地域の方と出会った時は挨拶や声かけを行っている。	0
		5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の道路愛護や八工・蚊消毒、校区公民館主催夏祭りに出店し、家族の協力にて利用者さんも全員参加している。また、区の親睦会のゴルフにも参加している。12月には地域のこども達も参加してホーム内で餅つき大会を開催したり、中学校の職場体験の受け入れ等、様々な活動を行い積極的に地域の方との交流とホームのPRに努めている。	1	少しずつ地域の交流も増えてきたので今後も努力していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 の い の	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員（4名）が小郡市のキャラバンメイトに参加し小郡市の認知症サポーター養成講座で講師役を務めて地域の方に認知症に対する理解を深めている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	カンファレンスにて自己評価・外部評価の意義を話し合い、意見交換を行い、職員の質の向上・サービスの向上に繋がるように努力している。	0	
		8 外 部 評 価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、区長や民生委員、老人会会長、利用者や家族等が参加している。ホームの状況や活動報告、意見交換を行っている。意見が出た場合は速やかに検討・実行し、次回に報告できるよう努めている。	0	
		9 外 部 評 価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて市町村担当者に報告や相談をし助言を伺ったりしている。小郡三井地区介護保険研究会にも参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	0	
		10 外 部 評 価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加したり管理者や職員が職場に資料を持ち帰り、参加できなかった職員には職場内研修で伝えている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会等があれば、管理者や職員が参加して資料を持ち帰り、職場内研修を行い、虐待のないように努めている。 入浴時や外出外泊後は要観察を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする場合は契約書、重要事項説明書等を提示し、利用者・家族の不安や疑問が解消されるように十分説明を行い理解、納得して頂いている。契約書・重要事項説明書には署名、捺印していただき、家族控えと事業所控えの二部作成している。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活や会話の意見や不満を言葉・行動・表情等から読み取れるように努力している。出てきた意見や不満は職員で話し合い、共有し改善できるように取り組んでいる。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	普段の生活の様子の写真を掲示し、面会時に見ていただいたり、持ち帰りいただいている。病院受診した際はその都度、電話にて連絡・報告をしている。金銭管理については金銭出納帳にて説明を行い、納得していただき署名をいただいている。家族の面会時は職員とゆっくり話す時間を設け、利用者の近況報告を行っている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や運営推進会議、家族会、ホーム内の苦情箱等で意見を聞く場を設けている。家族面会時は職員が必ず対応し、利用者の近況報告を行い、家族からも意見や希望を伺っている。意見や不満や苦情は職員間で共有し、今後活かすよう努力している。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや月1回のカンファレンスにおいて意見や提案を聞くようにしている。出た意見は職員間で十分に話し合い、必要なことは取り入れ、改善実施に努めている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況変化や行事の際には、職員に理解を得て調整を行い、確保できている。職員の家庭の都合を考慮し職員の離職率を低くすることで職員の確保に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	あいあ	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	2	
	5	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	代表者は職員の採用にあたっては性別や年齢ではなく、本人の意欲など気持ちの面を重視している。また、職員の家庭環境や研修・ボランティア活動の希望なども考慮して勤務を調整している。	1	職員一人一人がいいきと働いてもらえる職場環境であるよう努力したい。
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	児童・障がい者・高齢者に対する人権については朝礼時、カンファレンス、ミーティング、接遇研修など機会あるごとに話をしている。また、日頃から気付きがあれば、その都度注意し、利用者の人権尊重に努めている。	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会主催の研修には必ず参加するように努めている。また、協力病院の院内研修や管理者研修、リーダー研修等、県社協の研修も段階に応じて、職員に紹介し受けている。ホーム内研修では看護師による予防法等をマニュアルに添って勉強会を行っている。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が研究会やボランティア活動を通して他施設の訪問や交流を図り、お互いの情報交換を行い、その情報をもとに施設内で改善できることはないか、参考にできることはないか、話し合うようにしている。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年 4 回親睦会を行い、その時にさりげなく意見や悩みを聞いたり、退社時に聞いたりしている。勤務表作成時に休日の希望を十分受け入れるように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ほぼ毎日出勤しているため、勤務状況や個々の努力、実績は把握できている。職員への声かけを十分行い、介護の大変さや楽しさを共感し、長所を褒めるようにしている。	1	職員の勉強したいという思いを大事にしたい
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	1	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時情報を得て、本人の事はだいたい把握しているが、本人が利用されるようになってからは本人の思いや不安、希望等は普段の生活の中で言うてある言葉をできるだけ聞き逃さないように知る努力を行って、ケアプランに取り入れ支援を行うよう努めている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の話をも十分聞き、家族の思いを十分受け止め、家族の意向もプランに取り入れ、定期的に家族に確認していく。	1	家族とのコミュニケーションを大事にしたい
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意向や本人の日常生活や状況・能力を把握し、家庭での生活が可能であれば地域サービス提供について説明や紹介を行っている。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に本人のホーム見学を勧めている。ホームの環境を見て頂き、昼食などを他の利用者の方と一緒に食べて頂き、本人、家族ともに納得のうえで利用して頂いている。	0	
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
係り2 継続 これ までの 関係 づく りへの 支援 開く	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の味付けや味見、包丁を使つての野菜の皮むき、刻み、器へのつぎわけ、食器片付け、食器洗い、洗濯物干し、洗濯物たたみ、草取り、お客さんが来られたことを職員に知らせてくれ、出迎え、見送りなど、利用者さんと職員が共に支えあつて生活している関係を築いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事（花見、高塚地藏参拝、地域の夏祭り、敬老会、餅つき大会等）実施時に家族、利用者、職員との交流の場を設け、その中でお互いに相談したり、助言したりして、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各行事への家族の参加協力をして頂けるように早めに案内文書を送ったり、家族ができるだけ参加しやすい土・日祭日に日時を決めている。面会時はリビングや居室でゆっくり過ごして頂けるように配慮している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけの病院等に出かけ、友人や知人に会うことがあり、若い頃の馴染みの場所や人の話を聞くことで支援に努めている。また、家族や友人・知人の面会は自由に来て頂いている。面会時は、居心地のよい空間の提供に努め関係が継続されるよう支援している。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係は把握できている。トラブルが起きそうな時は職員が間に入り、話題を変えたり、気分を変えるなどの工夫をして対応している。利用者の方の座る位置も配慮し、利用者同士が支えあえるように支援に努めている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	短期入院の場合は洗濯物を取りに行った際に状況を聞いたり、本人さんに顔を見せ、声かけをして不安解消や認知症の進行悪化防止に努めている。また長期入院となり退所となった利用者の元へも顔を出すようにしている。家族へは再入所についての説明も行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17 項目・外部評価 6 項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3 項目・外部評価 1 項目	0	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		利用者本人の希望・意向を聴き、把握するように努めている。また、それを尊重し支援するように努めている。困難な場合は本人や家族と相談し、希望・意向に近づけるように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時や日々の生活の中での本人や家族からの聞き取りを参考にして、これまでの暮らしの把握をするように努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活記録を作成し、日々の生活の状態や心身状態を記録し、確認できるようにしている。また、利用者一人ひとりがどこまでできるのかの把握を十分行うようにし、カンファレンス等で話し合い、職員全員が把握できるよう努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための 介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の希望や意向をもとに職員で話し合い、本人が本人らしく生活できるようにケアプランを作成している。また、本人家族には面会時等に確認を行っている。	0	
		39 外部評価 19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプラン実施期間を明示し、期間に応じたケアプランの見直しを行っている。また、本人の状態が変化した場合もケアプランの見直しをその都度行っている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	体調や精神状態、食事摂取量、排泄状況等を毎日、介護者が個別記録に記入し、それをもとに支援方法のやケアプランの見直しを行っている。また、毎日の申し送りやカンファレンスで情報を共有できるようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日々の利用者の変化に応じて、看護師や家族と相談して、看護師もしくは介護職員が引率、付き添いにてホーム車両で病院受診を行い、家族へ結果報告をしている。また、家族の申し出により、車椅子専用車両等の貸し出しも行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	小学生の施設見学や中学生の職場体験学習、オカリナ演奏のボランティア、セラピューティックのボランティアの毎月の訪問等の理解と協力を利用者の方の支援に努めている。	0	
	4		<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	施設見学や入所時に本人や家族の意向などを十分聴き、他のサービスの説明を行うも家族は介護負担の限界であり、入所を希望され、早くホームに馴染んで本人らしい生活を送ってほしいとの希望は殆どであり、ほかのサービスを利用するまでには至っていない。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要な方については、定期的に報告し協議している。	1	昨年よりキャランメイト等で地域包括支援センターと協働することも増えており今後も継続したい
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設見学や入所時に本人や家族の意向などを十分聴き、他のサービスの説明を行うも家族は介護負担の限界であり、入所を希望され、早くホームに馴染んで本人らしい生活を送ってほしいとの希望は殆どであり、ほかのサービスを利用するまでには至っていない。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者のほとんどの方が定期的に専門医の受診または往診を受けており、必要時、職員が相談し、専門医の助言指示を頂いている。また、定期以外にもその都度、対応し支援している。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が常勤であるため、ほぼ毎日健康チェックをしている。必要時は随時電話連絡を取れるような体制をとっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は本人や家族に不安のないように頻繁に面会に行き、医師やソーシャルワーカーや病棟師長と話し合いをして、少しでも早く退院ができるように日頃から努めている。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・看取りの指針を作成し、入所時に説明を行い、同意書に同意を頂いている。家族とは日頃から急変時の対応についても話し合っている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだ該当者はいないが、利用者の心身状態、生活状態（食事・排泄・睡眠等）、バイタル等について看護師と相談し、病院受診を行い、本人の状態を医師に診て頂き、今後の急変に備えている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	次の施設へ本人の生活状況や習慣、好み、これまでのケアの内容やケアの工夫を詳しく情報提供し、住み替えによる本人のダメージを防ぐように努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	2	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1		
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人としての尊厳を重視し、プライドや人格を尊重して利用者一人ひとりに合わせた対応を心がけている。また、記録等に個人名を記録しないようにしている。職員には守秘義務についての誓約書に署名・捺印をもらっている。個人情報についてホーム内研修を行い職員の意識の向上に努めている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	飲み物の希望（熱いお茶・冷たいお茶・コーヒー・紅茶等）やご飯の量、髪の毛の長さ等いつでも利用者の方に決定権を持って頂けるような機会・場面を多く設けるように心がけ支援に努めている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、朝食時間、就寝時間、入浴の順番や時間による本人の居場所はきめておらず、本人の今までの生活リズムを壊さないように、利用者一人ひとりのペースを尊重し、職員中心のケアではなく、利用者中心のケアを支援するように努めている。	1	今後も一人一人を大事にしていきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	髪の色や衣服は本人の希望・好みでして頂いている。また馴染みの美容室にも家族や職員の送迎で行って頂いている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや切り刻み、味見、配膳、器へのつぎわけ、食器の後片付け等、できることを職員と一緒に行っていただいている。職員も一緒に同じ食事を摂り、介助が必要な方に対しては職員が横に座って、さりげなくサポートしている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコは本人と家族が望めば日常的に支援している。飲み物もコーヒー・紅茶・ジュース・牛乳等、またお菓子や果物なども希望されれば、個人の小遣いで一緒に買いに行ったり、職員が代わりに買いに行き支援している。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	訴えない利用者は定時のトイレ誘導を行い、排泄表に時間・排泄状況を記録している。これらの日々の排泄時間やパターンを把握し、失敗を減らすように支援している。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は一応決まってはいるが、利用者が希望されれば入浴可能にしている。入浴日は入浴の時間や順番は決めておらず、利用者の体調や気分によって行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の生活リズム等を壊さずに過ごして頂けるように、起床時間・就寝時間・朝食時間は決めていない。また、居室で休んで頂いたり、リビングでテレビ鑑賞をして頂き、本人の状態に合わせて過ごして頂けるよう支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、食事の準備、後片付け、洗濯物干し、洗濯物たたみ、草取り等、一人ひとりの力に合わせて役割を持って頂くように支援している。また、歌を歌ったり、ボール投げをしたり、貼り絵をしたりレクリエーションに参加して楽しんで頂いている。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機でジュースを買ったり、通院後に売店でお菓子を買ったりと、小銭ではあるが、一部の利用者の方は自分で管理して頂いている。バスハイク時は個人の小遣いで買い物を楽しんでいただくように支援している。	0	
		63 外部評価28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望、思いつきで散歩や日向ぼっこをしたり、近くの公園に散歩に出かけたり、職員と一緒に外出できるように支援しているホーム内の庭が広いので天気の良い日は、庭で日光浴をしたりしている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出の希望時は自由に行って頂いている。現在、施設では花見、高塚地蔵参拝（マイクロバス使用にて）校区公民館主催夏祭り、敬老会の行事は全利用者と家族と共に外出する機会を作り、支援している。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が電話をかけたいと希望されれば、それに応じて支援している。また、電話がかかってきた際には取り次いで支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時間は決まっていないので、いつでも自由に来ていただいている。また、ゆっくりと過ごしていただけるよう環境に配慮している。	1	今後もまた来たいと思って頂けるさりげない支援をしていきたい。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	病院等で身体拘束されていた方でも、本人の行動や仕草・表情の観察を十分行い、拘束せずに安全に過ごせるようにケアに取り組んでいる。	0		
		68 外部評価29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵はかけていない。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者がリビングに居られない時は、どこで何をされて過ごされているのか、職員間で声かけしながら、居場所を確認、把握するようにし、安全に配慮している。夜間巡回時は足音や扉の開閉に気を配っている。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・はさみ・針など本人の希望があればひつような時だけ提供し、使用後は目につかない場所へ保管している。内服薬や洗剤等も目に付かない所に保管している。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の可能性のある方は見守り歩行、立ち上がり時の介助などその方に応じた介助をし、事故防止に努めている。また、誤薬のないように服薬の際は、日付と名前を復唱し、必要に応じて口の中に入れるまでの介助を行っている。火災予防については、ガス元を離れる場合は必ずロックをかけるように徹底している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルは見やすい場所へ置いている。実際に今まであった急変時等の様子を職員同士で情報交換を行っている。ホーム内研修で急変時の対応について行っている。	0	
		73 外部 評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議を通して、区長・民生委員の方から地域の協力を得られるように働きかけている。区の消防団員にも声はかけている。夜間想定避難訓練を行っている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には状況に応じて説明を行っている。また、面会時に対応策や今後どのようにしてほしいかを話し合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日ほぼ同じ時間にバイタルチェックを行い、体調チェックを行っている。普段と少しでも変化のある場合はこまめにバイタルチェックを行い、表情・顔色、食事摂取量、排泄状況などの観察を十分に行い、記録に残し、情報の共有化に努めている。状態に応じて看護師が医師へ報告し、指示を受けている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示通り服薬支援を行っている。症状の変化はその都度看護師に報告している。個人ファイルにも薬の説明書を綴じ、薬の目的、用法、用量がいつでも確認できるようにしている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因、便秘による心身への影響を理解しており、毎朝テレビ体操を行っている。また水分摂取を促したり、食物繊維の多い食物の摂取等の工夫をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせて、歯ブラシに歯磨き粉をつけ、自分で磨いてもらう方、義歯を外し、うがいでしてもらい義歯洗浄は介助するかた等の支援を行っている。義歯は夜洗浄剤使用し、保管している。	0		
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態や希望に合わせて、食事（水分）の形態を変えたり、食事が進むような環境を提供するよう支援している。食事は食事摂取表に記入し、水分摂取は最低1日5回おこなっている。栄養状態は受診時に確認している。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し、毎日手洗い・うがいの実行を行っている。共用のタオルは使用しないようにしている。医療、保険、福祉機関等からの通達や情報収集を行い、未然防止に努めている。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	利用者には食事前アルコール手拭で手を拭いて頂いている。包丁やまな板は使用前に消毒をして使用し、夕食調理後には漂白殺菌を行っている。食器は食器洗い乾燥機で高温乾燥消毒を行っている。また調理後は常温で長期放置することのないように努めている。冷蔵庫掃除を月1回は行っている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	民家風の建物であるため、親しみやすい建物である。玄関前のプランターに花を植えている。	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やトイレ、食堂には四季折々の花を生けている。食堂はカーテンにて遮光に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂や縁側、和室にソファや椅子を置き、利用者さん同士、また利用者の方と家族や職員とのんびりとした時間を過ごすことができるように支援しています。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への持ち込みは自由としており、本人の使い慣れたタンスや椅子、布団等、馴染みのあるものを多く持ってきていただくようにしている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を十分に行い、排泄のにおいやよどみがないように努めている。冷暖房整備は居室や食堂、脱衣所に温湿度計を設置している。また、乾燥にも十分注意を行い、居室やリビングに加湿器を置いている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの必要に応じ、段差解消や手すりをつけている。車椅子での自力走行や介助による歩行、見守り歩行などを行い、できるだけ自立した生活が送れるように支援している。リフトを設置し本人様又職員に無理のない移乗をこころがけている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には名前を掲げたり、トイレが分からない方のためにトイレと書いた目印をしたり、夜間はトイレの電気をつけたままにして分かるように工夫している。	0		
89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先の空き地で天気のいい日は日光浴をしたり、おやつを食べたり、庭になったさくらんぼや枇杷、みかんちぎりをして食べたりして楽しんでいる。近くのグループホームまで散歩に行ったり、畑に野菜の収穫に行ったり、活動できるように活かしている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。